

《あなたも自然保護に一役》

使った割り箸を集める活動に

加わってみませんか

あなたが何気なしに捨てている使った割り箸は、貴重な紙の資源として使えます。紙の材料は森で育った木材です。一本ずつではわずかな紙にしかありませんが、みんなで集めると多くの貴重な自然の木を切り倒さずに済みます。

割り箸の旅

みんなで集める >>> 箱詰め >>> 王子製紙(株)米子工場 >>> 紙として再生 >>> 全国へ

割り箸はこんなに役立ちます

割り箸3人分(6本) A4サイズ コピー用紙1枚

割り箸100人分(200本) 週刊誌1冊分

割り箸の成分の半分は紙に、残りの半分は燃料などに使われ、捨てるものではありません。

割り箸は紙の原料として上質のものですが、大量に扱われるパルプ材料で、とても安いものです。ですから、ひとりひとりが手間をかけて集めても、送る費用のほうが多くかかるほどです。しかし、この活動を一人一人が善意ですすめることで

- * 私たちが忘れていた、まだ使えるものを捨てるのはもったいないという気持ちを取り戻します。
- * こどもたちも一緒に活動して、人のために役立つことの喜びを味わうことができます。
- * なによりも森や林を守るためにわずかでも実際に役立ちます。

割り箸を集めるときのお願い

- (1) 木の割り箸だけにしてください(竹や塗りが混ざるとより分けるのが大変です)。
- (2) ビンのふたやスプーンなどの金属は取り除いてください(機械が壊れます)。
- (3) 醤油やカレーの色がついていても洗うことはありません(パルプの処理で取れます)。
- (4) 乾かしてください(かびが生えたり、持つのにとても重くなります)。
- (5) グループを作ってまとめて現地に送れば割安で送れます(送料はご負担下さい)。
- (6) 学校関係はペリカン便で送ると着払い扱いをしてくれます。

私たちはこんなグループです

私たちフランシスカンズ・インターナショナル・ジャパンは、カトリック教会が環境の聖人と仰ぐ13世紀イタリアのアシジの聖フランシスコの清貧と謙遜の生き方に共感して、自分の生き方を考えようとするものの集まりです。私たちは地球全体の自然環境を守るために、小さいけれども一人一人身近に出来ることから行おうと考えて活動を始めました。このグループにはどなたでも参加できます。あなたも私たちと一緒に環境破壊をくい止める小さな力の一つになりませんか。

(関西地区代表者 フランシスコの家 ライムンド・チネカ神父)

割り箸の送り先

米子市吉岡 373番地
王子製紙(株)米子工場
環境管理室 向井哲朗宛
電話 0859-27-4986

フランシスカンズ・インターナショナル・
ジャパン 関西

〒600-8391京都市下京区佐竹町388
フランシスコの家
電話・FAX 075-822-2369

(2000.9)